**令和　年度　商業科「原価計算」　年間指導計画案**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 商業 | 科目 | 原価計算 |
| 学科・学年 |  | 単位数 | ２～４ |
| 教科書副教材 | 原価計算（TAC　商業723） |
| 科目の目標 | 　商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）原価計算，原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。（2）原価計算，原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。（3）企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価の方法 | ・定期テスト・小テスト・観察（学習状況，発表など） | ・定期テスト・小テスト・レポート・観察（学習状況，発表など）・学習の振り返り | ・レポート・観察（学習状況，発表など）・学習の振り返り |
| 趣旨 | ・原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。 | ・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 | ・原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。 |

**各学期の学習指導計画**

| **項目・単元** | **月** | **配当****時数** | **学習内容** | **学習のねらい** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第１編　原価計算の基礎第１章　原価と原価計算 | 4 | 3 | 1 商業簿記と工業簿記2 工業簿記と原価計算3 サービス業における原価計算の活用方法4 製品別の利益計算5 原価とは | ・製造原価と総原価の違い及び発生の形態，製品との関連，操業度との関連による原価要素の分類について学習する。さらに，サービス業における原価情報の活用の特徴について，具体的な事例を用いて学習する。 |
| 第２章　原価計算のあらまし | 45 | 3 | 1 製造原価の分類2 賦課と配賦3 原価計算の目的4 原価計算の流れ5 原価計算期間6 個別原価計算と総合原価計算7 実際原価計算と標準原価計算8 全部原価計算と部分原価計算 | ・原価計算の目的，手続，期間，種類について学習する。・各種原価計算の意義と分類を捉える。  |
| 第３章　工業簿記の勘定連絡 | 5 | 8 | 1 工業簿記の勘定記入2 工業簿記特有の勘定科目3 工業簿記の勘定連絡4 工業簿記の勘定連絡のまとめ | ・製造工程の特色，材料費，労務費，経費の計算から製品の完成，販売までの記帳の流れ及び製品ごとに利益を計算することの重要性について扱う。 |
| 第２編　原価の費目別計算第４章　材料費 | 56 | 11 | 1 材料費とは2 材料費の分類3 材料の仕入れと記帳4 材料の保管5 材料の消費と記帳6 材料の消費高の計算7 予定価格法による記帳 | ・材料費の分類，材料の仕入，払出，消費などにおける計算方法と仕訳について扱う。なお，材料の消費単価に関しては，原価法及び予定価格法について学習する。 |
| 第５章　労務費 | 67 | 8 | 1 労務費とは2 労務費の分類3 賃金の支払高の計算と記帳4 賃金の消費高の計算と記帳5 予定賃率を用いる計算6 予定賃率による記帳7 賃金以外の労務費の計算と記帳 | ・労務費の分類，賃金の支払，消費における計算方法と仕訳について扱う。なお，消費賃率に関しては，実際賃率及び予定賃率について学習する。 |
| 第６章　経費 | 7 | 5 | 1 経費とは2 経費の分類3 経費の消費高の計算と記帳 | ・経費の分類，消費高の計算方法と仕訳について学習する。 |

| **項目・単元** | **月** | **配当****時数** | **学習内容** | **学習のねらい** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第３編　原価の部門別計算と製品別計算第７章　個別原価計算 | 9 | 7 | 1 個別原価計算2 原価計算表への記入3 原価元帳と製造勘定4 製造間接費の配賦方法5 製造間接費の予定配賦6 製造間接費予算の設定方法7 公式法変動予算による差異分析8 固定予算による差異分析9 仕損品と作業くず | ・原価計算表の作成，原価計算表と仕掛品勘定との関係，製造間接費の配賦，仕損と作業くずの処理方法について扱う。また，製造間接費差異の原因別分析に関して，公式法変動予算と固定予算を採用した場合の予算差異と操業度差異について学習する。 |
| 第８章　部門別個別原価計算 | 910 | 7 | 1 部門別個別原価計算2 原価部門の設定3 部門別個別原価計算の手続き4 部門費配分表の作成5 部門費振替表の作成6 製造部門費予定配賦表の作成 | ・部門別計算の目的及び原価部門の設定，部門個別費と部門共通費の区分について扱う。また，部門費配分表と部門費振替表の作成方法及び製造部門費の予定配賦の方法について学習する。 |
| 第９章　総合原価計算 | 10 | 7 | 1 総合原価計算とは2 単純総合原価計算3 月末仕掛品原価の計算（平均法の場合）4 月末仕掛品原価の計算（先入先出法の場合）5 単純総合原価計算表と記帳6 等級別総合原価計算7 組別総合原価計算 | ・総合原価計算と個別原価計算の違い，月末仕掛品原価の計算方法について扱う。また，単純総合原価計算を中心として，等級別総合原価計算，組別総合原価計算に関して，それぞれの考え方と計算方法及び記帳法について学習する。 |
| 第10章　工程別総合原価計算 | 11 | 5 | 1 工程別総合原価計算とは2 工程別総合原価計算の計算方法3 工程別総合原価計算の記帳4 半製品がある場合 | ・工程がある場合の総合原価計算の計算方法について学習する。 |
| 第11章　総合原価計算と減損・仕損じの発生など | 11 | 5 | 1 総合原価計算における減損2 正常減損費の処理3 正常仕損費の処理4 副産物・作業くずの処理 | ・仕損と減損及び副産物の処理方法について学習する。 |

| **項目・単元** | **月** | **配当****時数** | **学習内容** | **学習のねらい** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第４編　製品の完成・販売と決算第12章　製品の完成と販売 | 1112 | 3 | 1 製品が完成したとき2 製品を販売したとき3 販売費及び一般管理費 | ・製品の完成と販売の記帳法について学習する。・販売費及び一般管理費に関する分類、計算方法について学習する。 |
| 第13章　決算と本社工場間の取引 | 12 | 5 | 1 工企業の決算2 月次決算と年次決算3 財務諸表の作成4 本社工場間の取引 | ・工場会計が本社会計から独立している場合における，製品の完成や販売などに係る本社と工場間の取引の記帳法について学習する。・製造業における決算の特徴と手続，製造原価報告書の作成方法及び製造業と商品売買業の財務諸表の違いについて学習する。・製造原価報告書に関しては，製造間接費が実際配賦された場合及び予定配賦された場合の作成方法について学習する。 |
| 第５編　標準原価計算第14章　標準原価計算（その１） | 1 | 5 | 1 標準原価計算2 標準原価計算の手続き3 原価標準の設定4 標準原価の計算 | ・標準原価計算の目的，標準原価計算の一連の手続及びシングルプランとパーシャルプランによる記帳法について学習する。 |
| 第15章　標準原価計算（その２） | 1 | 8 | 1 原価差異の計算2 原価差異の分析3 標準原価計算の記帳方法4 損益計算書の作成 | ・直接材料費差異，直接労務費差異及び公式法変動予算と固定予算を採用した場合の３分法による製造間接費差異の分析について学習する。 |
| 第６編　直接原価計算第16章　直接原価計算（その１） | 2 | 7 | 1 直接原価計算2 直接原価計算の損益計算書3 利益計画 | ・直接原価計算の目的と方法，直接原価計算による損益計算書の作成方法及び全部原価計算による損益計算書との違いについて学習する。 |
| 第17章　直接原価計算（その２） | 23 | 9 | 1 CVP 分析2 損益分岐点売上高3 目標営業利益を達成する売上高4 損益分岐図表5 原価の固変分解6 損益分岐点比率と安全余裕率 | ・直接原価計算が短期利益計画に有用な情報を提供できること及び原価，営業量，利益の関係を分析する方法について学習する。 |

**年間指導計画にもとづく評価規準例**

| **項目・単元** | **学習内容** | **評価の観点** |
| --- | --- | --- |
| **知識・技術** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| 第１編　原価計算の基礎第１章　原価と原価計算 | 1 商業簿記と工業簿記2 工業簿記と原価計算3 サービス業における原価計算の活用方法4 製品別の利益計算5 原価とは | 原価と原価計算の概要について理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 原価計算の意義について，原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。 | 原価と原価計算について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第２章　原価計算のあらまし | 1 製造原価の分類2 賦課と配賦3 原価計算の目的4 原価計算の流れ5 原価計算期間6 個別原価計算と総合原価計算7 実際原価計算と標準原価計算8 全部原価計算と部分原価計算 | 原価と原価計算の概要、分類について理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 原価計算の意義、分類について，原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。 | 原価と原価計算の意義、分類について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第３章　工業簿記の勘定連絡 | 1 工業簿記の勘定記入2 工業簿記特有の勘定科目3 工業簿記の勘定連絡4 工業簿記の勘定連絡のまとめ | 工業簿記の勘定連絡について理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 工業簿記の勘定連絡について，原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。 | 工業簿記の勘定連絡について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第２編　原価の費目別計算第４章　材料費 | 1 材料費とは2 材料費の分類3 材料の仕入れと記帳4 材料の保管5 材料の消費と記帳6 材料の消費高の計算7 予定価格法による記帳 | 材料費の計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 材料費の計算と処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 材料費の計算について自ら学び，費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目・単元** | **学習内容** | **評価の観点** |
| **知識・技術** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| 第５章　労務費 | 1 労務費とは2 労務費の分類3 賃金の支払高の計算と記帳4 賃金の消費高の計算と記帳5 予定賃率を用いる計算6 予定賃率による記帳7 賃金以外の労務費の計算と記帳 | 労務費の計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 労務費の計算と処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 労務費の計算について自ら学び，費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第６章　経費 | 1 経費とは2 経費の分類3 経費の消費高の計算と記帳 | 経費の計算と処理の方法について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 経費の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 経費の計算について自ら学び，費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第３編　原価の部門別計算と製品別計算第７章　個別原価計算 | 1 個別原価計算2 原価計算表への記入3 原価元帳と製造勘定4 製造間接費の配賦方法5 製造間接費の予定配賦6 製造間接費予算の設定方法7 公式法変動予算による差異分析8 固定予算による差異分析9 仕損品と作業くず | 個別原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 個別原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 個別原価計算について自ら学び，個別原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第８章　部門別個別原価計算 | 1 部門別個別原価計算2 原価部門の設定3 部門別個別原価計算の手続き4 部門費配分表の作成5 部門費振替表の作成6 製造部門費予定配賦表の作成 | 原価の部門別計算と製品別計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 原価の部門別計算と製品別計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 原価の部門別計算と製品別計算について自ら学び，部門別計算と製品別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| **項目・単元** | **学習内容** | **評価の観点** |
| **知識・技術** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| 第９章　総合原価計算 | 1 総合原価計算とは2 単純総合原価計算3 月末仕掛品原価の計算（平均法の場合）4 月末仕掛品原価の計算（先入先出法の場合）5 単純総合原価計算表と記帳6 等級別総合原価計算7 組別総合原価計算 | 総合原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 総合原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 総合原価計算について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第10章　工程別総合原価計算 | 1 工程別総合原価計算とは2 工程別総合原価計算の計算方法3 工程別総合原価計算の記帳4 半製品がある場合 | 工程別総合原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 工程別総合原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 工程別総合原価計算について自ら学び，工程別総合原価計算による適正な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第11章　総合原価計算と減損・仕損じの発生など | 1 総合原価計算における減損2 正常減損費の処理3 正常仕損費の処理4 副産物・作業くずの処理 | 総合原価計算における減損・仕損等の処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 総合原価計算における減損・仕損等の処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 総合原価計算における減損・仕損等の処理について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第４編　製品の完成・販売と決算第12章　製品の完成と販売 | 1 製品が完成したとき2 製品を販売したとき3 販売費及び一般管理費 | 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費の処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費の処理について自ら学び，適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第13章　決算と本社工場間の取引 | 1 工企業の決算2 月次決算と年次決算3 財務諸表の作成4 本社工場間の取引 | 内部会計に関する会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 内部会計に関する会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 内部会計に関する会計処理について自ら学び，適正な会計処理による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目・単元** | **学習内容** | **評価の観点** |
| **知識・技術** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| 第５編　標準原価計算第14章　標準原価計算（その１） | 1 標準原価計算2 標準原価計算の手続き3 原価標準の設定4 標準原価の計算 | 標準原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 標準原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 標準原価計算について自ら学び，標準原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第15章　標準原価計算（その２） | 1 原価差異の計算2 原価差異の分析3 標準原価計算の記帳方法4 損益計算書の作成 | 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成について自ら学び，標準原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第６編　直接原価計算第16章　直接原価計算（その１） | 1 直接原価計算2 直接原価計算の損益計算書3 利益計画 | 直接原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 直接原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 直接原価計算について自ら学び，直接原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |
| 第17章　直接原価計算（その２） | 1 CVP 分析2 損益分岐点売上高3 目標営業利益を達成する売上高4 損益分岐図表5 原価の固変分解6 損益分岐点比率と安全余裕率 | 短期利益計画について理論と実務とを関連付けて理解するとともに，関連する技術を身に付けている。 | 短期利益計画の方法の妥当性と実務における課題を見いだし，科学的な根拠に基づいて課題に対応している。 | 短期利益計画について自ら学び，直接原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |